

## アジア高校生オンライン国際交流事業委託業務企画提案に関する質問への回答

### 質問①

仕様書 p1 4 (1) ②

アジアの国・地域を対象国にするとなっておりますが、どの国を想定していらっしゃいますか？オンライン接続において時差を考慮する必要があるためお伺いしております。

回答>令和4年度に交流を予定している国・地域は次のとおりです。

ネパール、タイ、インドネシア、フィリピン、台湾

### 質問②

仕様書 p2 4 (5) ①

事前研修の内容について、異文化理解、英語のスキル、プロジェクトマネジメントなどの研修が想定されているとありますが、事前研修に割くことが可能な時間は9月24日(土)の午前中のみという理解でよろしいでしょうか？

回答>

はい、9月24日(土)午前中のみ(3時間程度)を想定しております。なお、事前研修は沖縄県生徒のみが対象となります。

### 質問③

仕様書 p2 4 (5) ⑤

プロジェクト型探求学習とございますが、10月1日(土)から始まるプロジェクト活動の中において、具体的にはこういった活動が想定されておりますか？

回答>

プログラム期間中、設定されている活動日(土曜日)に全てのチームが集まって活動を行い、プロジェクトを進めてもらいます。活動形態としては、全チーム合同、いくつかのグループに分かれて、あるいは、チームごとの活動が考えられると思います。それぞれの活動形態に即した適切な支援方法、支援内容をご計画ください。

なお、活動日以外にも、チームが自主的にコミュニケーションを取りながらプロジェクトを進めていくことも想定しています。

質問④

仕様書 p4 5 (2) ④

各賞の発表とございますが、受賞者の選考については事業の委託者が行うという理解でよろしいでしょうか？

回答>

受託者に、各チームのプロジェクトの取組内容をもとにして受賞者（案）を成果発表会までにご提示いただき、それをもとに県教育委員会で決定いたします。

質問⑤

仕様書 p4 5 (2) ⑥

プロジェクトチームについて、人数は6名程度となっておりますが、総プロジェクトチーム数は約33チーム（200名÷6名）という理解でよろしいでしょうか？

回答>

チーム編成においては、全てのチームに沖縄県生徒が複数名参加するようにしていただきたいと考えています。チーム内の生徒数については、プロジェクトの内容によっては少ない方がよい場合や逆に多い方がよい場合もあるかもしれませんので、ある程度柔軟に考えていただきたいと思います。

なお、参加生徒数は、沖縄県生徒、海外生徒とも100名程度を想定しており、200名ちょうどにならない場合もあるとお考えください。

したがって、総チーム数については、33チームから少しの増減はあるかと思えます。

質問⑥

仕様書 p4 5 (2) ⑥

プロジェクト型探求学習については、沖縄県と海外の生徒が共同で行うため英語を使用することになると思料しますが、通訳の手配は必要ないとの理解でよろしいでしょうか？予算積算に係るためお伺いしております。

回答>

生徒どうしのコミュニケーションは全て英語で行うことを想定しています。講師にも英語を使用していただくことを基本に考えておりますが、もし講師が英語話者でない場合は、英語通訳の手配をお願いいたします。開会式等、海外生徒が含まれる活動は全て英語による進行をお願いします。

質問⑦

仕様書 p4 5 (2) ⑦

プロジェクト探求型学習の成果発表会について、想定されているお時間（例：1 時間、2 時間など）はございますか？

回答>

チーム数が多いため、オンライン発表会場を複数設ける必要があると考えています。複数会場での発表が同時進行で進められ、参加生徒は興味関心のある発表が行われている会場に参加する形になると思います。その場合、受託者には、各会場の進行を行っていただくこととなります。

成果発表会の時間については、参加生徒ができるだけ多くの発表に参加できるよう会場の設定や各チームの発表時間を工夫してください。2 時間以下の短い時間は想定しておりません。

質問⑧

仕様書 p7 12 (4) 「・・・精算払いを行うものであること」との記載がありますが、委託料については全額を業務期間後の精算払いとし、事業期間中に複数回に分けての概算払い等は行わないということでしょうか？資金の調達に関連するためお伺いしております。

回答>

プログラムの計画・実施（選考、研修に係る経費等）に一定の費用を要することから、事業を実施していく上で進捗度合いを勘案の上、概算払いを行います。